

水土里レポート

投稿月日	令和3年10月
タイトル	「ヒナモロコ」放流会
水土里レポーター名	水土里ネット ^{みのうさんろく} 耳納山麓 雄野 有紀

令和3年10月5日、福岡県久留米市田主丸町の水路にて竹野小学校の児童によるヒナモロコの放流会が開催されました。

「ヒナモロコ」とは？

コイ科に属する魚で、朝鮮半島や中国東部などに広く分布していますが、国内ではこの地域のみで自然分布しています。絶滅危惧IA類に選定されており、日本列島がかつては大陸と地続きであったことを証明する希少な魚とも言われています。

国内では絶滅したと考えられていましたが、1994年に竹野小学校の児童が再発見！

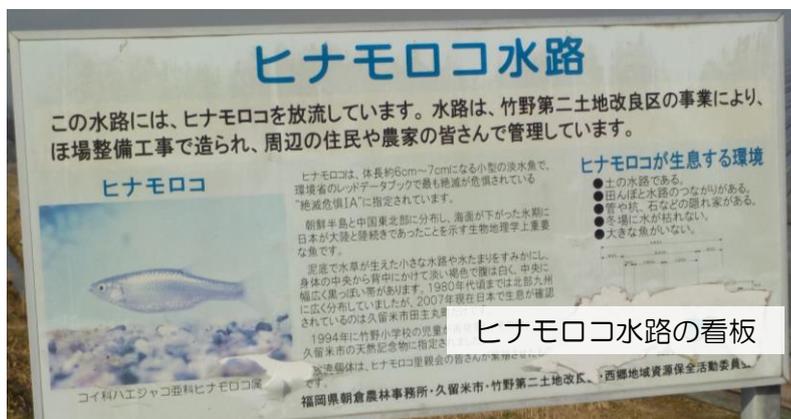
この地域のみで生息することとなり保護活動が行われています。



児童によるイラスト



放流の様子



当日は竹野小学校の5年生、地元の関係者、福岡県・久留米市、土地改良区等が参加して放流会が行われました。

放流の前に、ヒナモロコについて調べたことや感じたことなど児童による発表がありました。

それから放流を行い、たくさんのヒナモロコが元気に泳いでいきました。「がんばれよー」といった声も飛び交いました。

この放流会を通じて、水路には農業用水としての他にも生き物の住处としての役割等もあるということを改めて再認識することになりました。

また子どもにとっても大人にとっても、この環境を守っていきいたいと思う良いきっかけにもなったように思います。

